

安全で質の高いチーム医療をめざして



薬局長 濱尾 文

従来から、医薬分業によって多くの医療機関で院外処方箋が発行されています。当院でも大多数の外来患者様が院外処方で、かかりつけ薬局での服薬指導を受けられております。そうすることで複数の診療科の受診による重複投与や飲み合わせ等を確認でき、より安全で効果的な治療を継続することができます。かかりつけ薬局を決めてご利用になられることをお勧めします。

当院の薬局は、病棟の一角にあります。平成16年の建築当初より病棟での業務を念頭に、調剤室をはじめクリーンベンチ、安全キャビネットといった注射薬の混合に使用する機器を備えています。平成23年に電子カルテを更新したことで、患者様の病状などの情報収集量が増加し、小さなことから大きなことまでタイムリーに気づかされることが増えてきました。それにつれて、患者様やスタッフとのコミュニケーション量も増え、業務の質が向上していると実感しています。

これからも、より安全で質の高いチーム医療をめざし、改善に取り組んでまいります。



亀井病院の目指すもの…あたらしい技術 ①「開存率改善への取り組み」

血液透析患者の命綱であるバスキュラーアクセス、インターベンション治療で良好な状態を維持



副院長 濱尾 巧

「透析シャント」は、最近シャント血管＝バスキュラー、到達手段・入口＝アクセスを組み合わせて、バスキュラーアクセス(VA)とよばれています。

VAは血液透析患者が透析治療を受け続けるために必要不可欠なものであり、そのため「血液透析患者の命綱」とも言われています。透析技術の進歩により30年以上の長期透析が可能となった現在、VAの機能を維持させることが血液透析患者にとって大変重要となっています。

VAの合併症の大半は狭窄に関連するものです。当院ではすべての穿刺を医師が行い、VA機能のモニタリングや血管造影(DSA)で形態的VAの評価を行っています。

VA狭窄が見つかり、血流の本幹における血管狭窄の場合は、治療を行わないと閉塞してしま



う危険があります。治療方法は治療目標となる血管自体に直接アプローチする外科的治療と、経皮的に病変にアプローチするインターベンション治療(VAIVT: Vascular Access Interventional therapy)とがあります。

当院では既存の血管を温存でき、繰り返し施行することで長期的な開存が期待できるVAIVTを2005年から導入しています。方法は以下の通りで、レントゲン透視下で位置を確認しながら行います。

- ①VAにシース(管)を挿入する
- ②シースからガイドワイヤーを通して狭窄部を通過させる
- ③ガイドワイヤーに沿って血管内にバルーンカテーテルを挿入する
- ④狭窄部位でバルーンを拡張させる
- ⑤バルーンの圧力で内側から血管を広げる

VAIVTの代表的な成功例を右上に提示します。

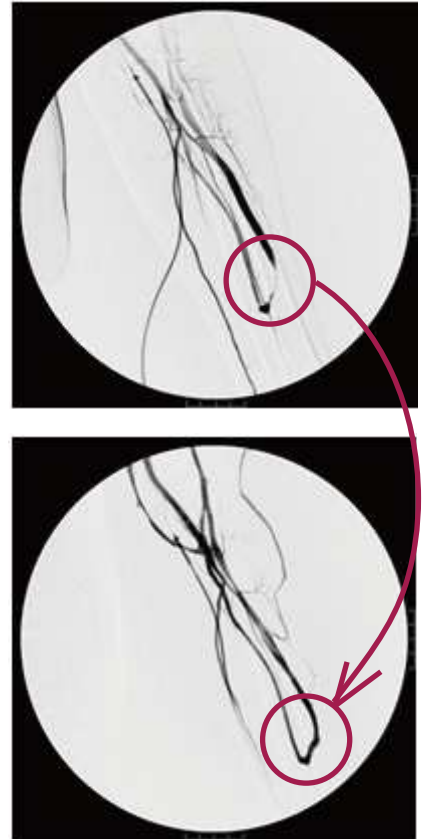
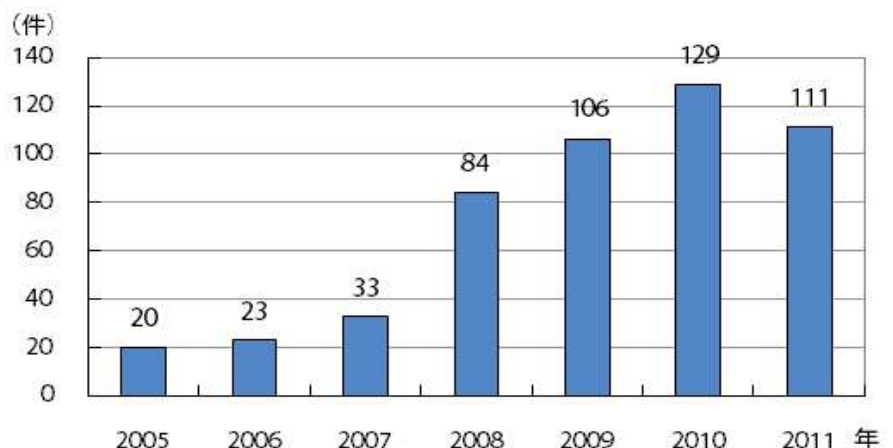
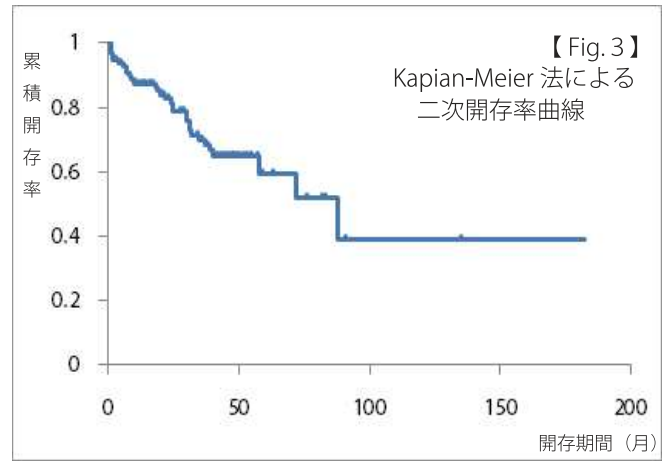
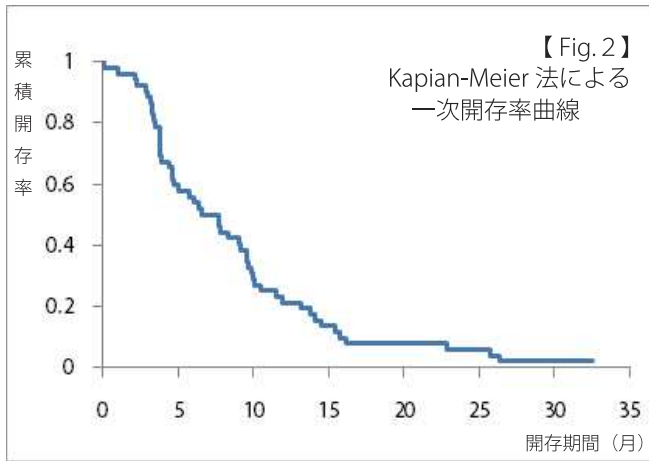


Fig. 1(下表)は当院におけるVAIVTの治療実績です。2008年から手術件数は急増し、2009年以降は年間100件以上のVAIVTを行っています。Fig. 2、Fig. 3は2009年から2011年の3年間の治療成績を示しています。一次開存率(再施行時点まで)は3ヶ月88%、6ヶ月56%、12ヶ月21%で、二次開存率(再建術時点まで)は1年87%、2年81%、3年70%でした。一時開存率は低い



【Fig. 1】 亀井病院における VAIVT の治療実績



↓
 のですが、繰り返しVAIVTを行うことで二次開存率は良好でした。
 このたび、他の透析施設のVAトラブルにも対応できるよう「VA治療センター」を開設しました。今後は地域の皆様に貢献できる治療に取り組んでまいります。
 どうぞよろしくお願い申し上げます。



あたらしい技術 ② リンパ浮腫の軽減および軽減状態の維持



看護部 (病棟)
副主任 武林 ゆかり

当院では、がん患者様の療養生活がより快適に過ごせるよう援助しています。

体の中のリンパ管と呼ばれる管の中をリンパ液が流れ、全身にタンパクや白血球などを運んでいます。がん治療においてリンパ節を取り除く手術や放射線治療によってリンパの流れが停滞することで、生涯にわたり

腕や足がむくんだりするようになります。このむくみを「リンパ浮腫」といいます。

先日リンパ浮腫の治療を積極的に行われているリムズ徳島クリニック様の協力を得て、理学療法士と看護師がリンパ浮腫についての研修に行ってきました。

リンパ浮腫に対する治療は、

1. スキンケア
2. 手動的リンパドレナージ
3. 圧迫療法
4. 圧迫下での運動療法

を組み合わせた複合的治療が推奨されています。リムズ徳島クリニックでは主病が完治、もしくは問題が無い状態で全身状態が安定している患者様を対象にリンパ浮腫の積極的な複合的治療が行われていました。しかし当院の患者様は緩和医療が中心であるため、複合的治療を行う

ときには患者様の希望や状態に応じて組み合わせて行く必要があります。

リンパ浮腫に伴う不快な症状を緩和するために、手動的リンパドレナージと圧迫療法を行なっています。リンパドレナージは癒しのマッサージ効果もあります。圧迫療法は始めに圧迫感などが感じられますが、治療後には浮腫が軽減して症状の改善が実感され「足が軽くなった」、「だるさが楽になった」と言われる患者様が多くおられます。

リンパ浮腫が軽減することで、諸症状やそれに伴う心理的な苦痛が軽減し、生活の質 (QOL) が改善されます。治療を行う時には患者様との対話を心がけ、患者様・ご家族の感情や苦痛に配慮してまいります。



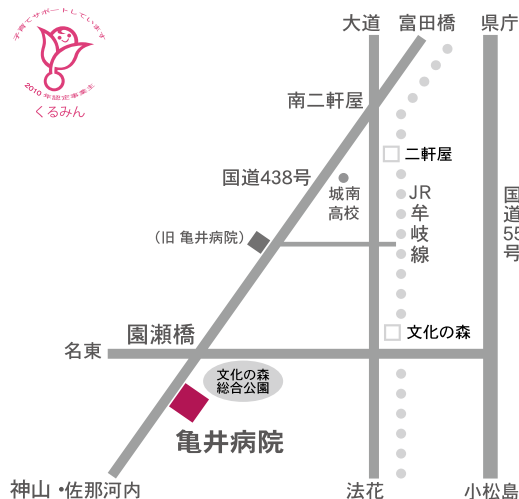
当院の教育施設認定

- 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医教育関連施設
- 日本透析医学会 専門医制度認定施設
- 日本緩和医療学会 認定研修施設
- 協力型臨床研修病院

外来診療のご案内 平成 24 年 10 月 1 日～

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|--------------|---|---|---|---|---|
| 腎・泌尿器科 | | | | | | |
| 9:00～12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 14:00～16:30 | ● | | | | ● | ● |
| VA治療 | | | | | | |
| 9:00～12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 14:00～16:30 | ● | | | | ● | ● |
| 透析科 | | | | | | |
| 8:00～ | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 12:30～ | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 17:00～ | ● | | | | ● | |
| 総合診療科 | (第2・4土曜日は休診) | | | | | |
| 9:00～12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ○ |
| 緩和医療科 | | | | | | |
| 9:00～12:00 | | ● | | ● | | |
| 麻酔科 | | | | | | |
| 9:00～12:00 | ● | ● | | ● | ● | |
| 腎臓内科 | | | | | | |
| 9:00～12:00 | | | ● | | | |
| 14:00～16:30 | | | ● | | | |
| 循環器内科 | (第2・4水曜のみ) | | | | | |
| 13:00～17:00 | | | ○ | | | |
| 整形外科 | (第2・4土曜日のみ) | | | | | |
| 9:00～12:00 | | | | | | ○ |

※緊急の検査・手術や学会出張等で変更になる場合があります。
 ※いずれの外来も予約制で行っています。ご来院の際は、事前の確認と予約の電話をおねがいします。



- 国道 438 号線沿い 文化の森総合公園の西側隣
 - 駐車場 125 台
 - 徳島バス 佐那河内線、徳島市バス 一宮線
- 【亀井病院前】下車。上下線とも（徳島駅からは約 15 分で）病院玄関前に停車します。
 詳しくは総合受付までお問い合わせください。

〒770-8070 徳島市八万町寺山 231
 TEL.088-668-1177 FAX.088-668-1122
 ホームページ <http://www.kameihospital.com/>

※バスが増便されます※

10月1日から、徳島市バス「一宮線」が徳島バスの車両で運行されます。そのため亀井病院前を利用できるバスは1日あたり55便に増便され、バスでの通院が便利になります。どうぞご利用ください。

※地域医療連携室からのお知らせ※

徳島市がん検診を受け付けています

- 期間：7月1日から12月20日まで
 - 対象：徳島市に住民登録のある対象の人
- 当院では大腸がん検診・前立腺がん検診もの忘れ一次検診・肝炎ウイルス検診を総合診療科で行っています。
 徳島市保健センターから個人宛に送られた整理券が必要です。ご持参ください。
- 泌尿器科では『前立腺がん精密検診』を行っています。対象者は前立腺がん検診の結果『要精密検診』となられた方です。前立腺がん精密検診は、保険診療となります。受診の際は「健康保険証」と「精密検診依頼書」をご持参ください。費用は、はじめて受診の場合3割負担で¥3,000程度ですが、検査内容や保険証の自己負担割合により変わります。

※病院の理念※

よりよい医療を提供し
 社会に貢献いたします

※4つの基本方針※

1. 患者さんの話に耳を傾ける医療
2. 職員全員が医療人としての技量を発揮するチーム医療
3. 患者さんの健康回復・社会復帰を目指す医療
4. 他の医療機関と連携する医療

職員全員で患者さんが
 健康回復に取り組むことを
 医療的にそして精神的に支援します

※編集後記※

第4号をお読みくださってありがとうございました。いかがでしたか？先日、病院広報の講習会で「広報は社会と双方向でつくっていく」と学んできました。どうか率直な感想・ご意見やご希望をおきかせください。Pipiが多くのみなさんに愛され、次号を楽しみにしていただけよう、広報委員はアンテナを張り巡らせて働きます。ホームページもマメに更新します。ぜひご覧ください。(T.N.)